自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール　　令和７年　グループホーム成島園【朗らかユニット】

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人理念に「人が人として尊厳をもって地域や家庭の中でその人らしい自立した生活が送れるよう支援いたします」を掲げ、月例会議や職員全体会議、法人内会議で理念の朗唱を行い、共有している。また、ケアの指針マニュアルを活用して読み合わせと、定期的に振り返りを行い、実践に繋げている。 さらに、地域密着型サービスとして、運営推進会議を通じて地域住民や関係機関と理念を共有しているほか、地域の運動会への参加や文化祭への作品出品など、地域行事への積極的な関わりを持つことで、利用者が地域の一員としてその人らしい生活を継続できるよう支援している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の行事である運動会に利用者と一緒に参加、文化祭へ展示する物を出品することで地域との交流を図ることができた。地域の町おこしでもある「桔梗の里作り」にも協力して、種から苗を育て、その苗を地域に還元している。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	2ヵ月に1回、運営推進会議を開催し、利用者や家族代表者、地域代表者、米沢市役所職員に参加していただいている。事前に資料や広報紙を送付し、意見・質問を頂き、サービス向上に活かしている。			

4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議には、米沢市役所職員に出席して頂き、事業所の取り組み内容を伝え、意見・質問を頂き、ケアサービスの充実と向上に活かしている。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束マニュアルを活用し、月例会議にて全職員で話し合い、理解を深めている。利用者一人ひとりの状態を把握し、日中はセンサーチャイムを活用して玄関に鍵をかけない工夫をしたり、転倒の危険がある利用者には、センサーマットやモーションセンサーを使用して身体拘束をしないで過ごせる工夫に取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内で虐待・身体拘束委員会を設置している。また、虐待についてのチェックリストを活用しながら、委員会や月例会議にて利用者のケアについて振り返る機会を設け、虐待防止への意識向上とケアの質の改善に取り組んでいる。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活自立支援事業や成年後見制度について月例会議で学ぶ機会を設けて必要に応じて活用し、支援出来るように努めている。			

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の締結や解約時には文書と口頭で十分な説明を行うとともに、不安や疑問点を確認し、理解・納得を得ている。また、改定時にも文書と口頭で十分な説明を行っている。留意事項や緊急連絡先、かかりつけ医の確認、金銭管理について同意確認の上、サービスを提供している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の要望について、運営推進会議の中で意見や要望を聞き、運営に反映させている。家族の来訪時や家族会事業の際に、近況報告を行うと共に家族より意見をいただいている。また、来訪された際、利用者個人のケース記録を確認していただき、コメントを記入していただいている。事業所では意見箱を設置し、意見や要望を聞く事ができるようにしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月例会議や職員全体会議の中で職員の意見や要望を聞き取り、運営に反映させている。また、年１回の個別面談を通じて職員の意見や提案を把握している。これらの意見は必要に応じて運営に反映されており、職員の声を取り入れる仕組みが継続的に機能している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月例会議や職員全体会議にて、意見交換しながら専門職としてのやりがいを感じられるようにしている。労働条件に関しても話し合いの機会を設けている。人事考課制度を導入し、やりがいや向上心を持って働ける職場環境の整備にも努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員のケアの実際と力量を日常業務や面談等を通じて把握し、その結果に基づいて法人内外の研修計画を策定している。また、必要に応じてOJTを実施し、働きながらスキルを高められる体制を整えている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている (C.) あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月発行している広報紙を市内のグループホームへ届ける際に、運営状況や支援方法に関する情報交換を行っている。交流先は1カ所ではあるが、他事業所の取り組みを知る機会として活用し、得られた情報をサービスの質向上に役立てている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の出来る事や得意な事、好きな事を把握し、日常の中で家事仕事や畑仕事等を利用者と職員が一緒に行ったり、利用者より教えてもらいながら、共に支え合い過ごしていく関係を築いている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人のこれまでの生活歴を把握し、大切にしてきた馴染みの人や、外出などでなじみのある場所との関係が途切れないように支援している。			
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者との日常会話の中から、一人ひとりの思いやどのような暮らしを望んでいるかを把握し、実現できるように努めている。意思表示が困難な利用者には、来訪時にご家族から本人の生活歴等の聞き取りを行っている。本人の表情等も観察しながら本人本位の支援に努めている。また、本人が答えやすいよう複数の中から選択できるよう支援を行っている。			

17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護職員が日常生活の中で得た本人の気づきやアイディアを記録し、センター方式 24 時間シート等を用いて本人の状態を把握している。これらの情報をもとに、利用者の視点に立った個別の介護計画を作成し、計画の実施状況を評価しながら、現状に即した介護計画へ適宜見直しを行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の様子やケアの実践、気づきの記録は行えているが、記録された内容が実践の工夫やケアの改善に十分反映されない場面があり、個別ケアの深まりが弱くなる傾向がみられる。今後は記録と実践をより結びつけるために職員間での情報共有の時間を設け、ケアの実践や介護計画の見直しにつなげていく必要がある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者や家族のニーズに合わせて医療機関による訪問診療を受け入れたり、受診や買い物等に対応し、その場面に合わせたサービス提供に努めた。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源の把握が十分とはいえず、毎年同じ内容の取り組みに偏る傾向がある。こうした状況の中でも、地域資源との協働として「桔梗の里作り」に参加し、地域からいただいた桔梗の種を育てて苗を還元する取り組みを行っている。また、「米沢花いっぱい運動」やオレンジガーデニングプロジェクトには、利用者が楽しみながら参加している。さらに、地区の文化祭へ作品を出展するなど、本人が心身の力を発揮しながら地域とのつながりを持てるよう支援している。			

				今後は、地域資源の幅を広げ、より多くの利用者が関われる活動を検討していく必要がある。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が長年通っている医療機関や、本人、家族が希望する医療機関で、適切な医療を受けられるよう支援している。また、利用者の状態によって、家族やかかりつけ医と相談し、訪問診療を受けられるよう支援している。受診後は受診内容を記録して周知し、全職員が利用者の状態を把握するように努めた。また、受診後は家族へ受診内容を報告している。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族が希望する医療機関を聞き取り、入院が必要な場合に、スムーズな対応が出来るようにしている。入院時には、医療機関へ情報提供を行い、安心して治療が受けられるようにしている。入院中は、病院関係者やご家族に本人の病状や経過の確認を行い、早期退院の調整を図っている。また、入院中や退院時のカンファレンスに出席し、利用者の退院後の治療や状態把握に努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化や終末期を迎える可能性について、入居の契約時や担当者会議などの機会に本人や家族と話し合いを行い、本人の思いや家族の意向を確認している。そのうえで、事業所として提供できる支援内容や対応の範囲を丁寧に説明し、方針を共有するとともに、必要に応じてお住み替えの提案も行っている。また、医師・訪問看護など地域の関係者と連携し、情報共有を行いながら、チームで本		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

				人の状態に応じた支援を継続している。			
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的に月例会議時に「利用者状態変化時ガイドライン」等を基に緊急時の対応について確認し、職員全体で初期対応の流れを共有している。また、応急手当講習会を受講し、急変時に備えた知識の習得に努めている。しかし、実際の急変対応の経験はなく、実践力が十分に身についていない職員もいるため、今後も継続的な訓練や振り返りの機会を設け、急変時に適切な対応ができるよう取り組んでいく必要がある。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災・地震・水害などの災害時に昼夜を問わず利用者が避難できるよう、毎月の月例会議では出席職員が搬送訓練や発電機の使用訓練を実施している。訓練内容は職員間で共有され、全職員が必要な対応を身につけられる体制を整えている。 また、災害発生時の連絡体制を整備し、定期的な通報訓練も行うことで、緊急時の対応力向上に努めている。さらに、地域防災協定を締結し、地域との協力体制を構築している。各居室の門標には利用者の救護方法を示すシールを貼付し、地域住民が支援方法を把握しやすいよう工夫している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者不在時に居室へ入室する際は、利用者に理由を伝え、同意を得てから入室している。リビングで過ごす利用者のトイレ誘導や入浴の際は、さりげない声掛けを行い、プライ		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

				バシーに配慮している。 　これらの取り組みにより、利用者が安心して自分らしく生活できる環境づくりを進めている。			
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの生活習慣を尊重し、食事やお茶飲みなど、個人のペースに合わせた対応を心掛け支援している。趣味活動や体操への参加など、本人の希望に沿った支援を行っている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	調理をする際は食べたいメニューや調理方法を聞き、調理や盛り付け、味付けを職員と一緒に行い、後片付けも含め、一人ひとりの力を活かせるように支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	10 食品群シートを活用し、毎日の食事をバランス良く摂れるよう支援している。食事摂取量が少ない利用者には、栄養補助食品や嗜好品を提供している。また、栄養バランスに偏りがないか、一ヵ月の献立表を管理栄養士に確認してもらい、評価を受け献立作りに活かしている。各利用者に応じた水分量が確保出来るよう声掛けを行い、提供している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアの声掛けを行い、自力での口腔ケアが困難な利用者については職員が介助を行っている。義歯を使用している利用者についても、洗浄剤を使用する声掛けや介助を行い、清潔が保持できるように支援している。口腔状態に合わせて、訪問歯科診療の依頼を行っている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの排せつパターンを把握して声掛けや誘導を行っている。便秘時には下剤の調整や、便秘予防で飲み物等にオリゴ糖を入れて提		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		じた予防に取り組んでいる		供し、排便を促している。また、利用者の排せつ状況によっては、医療機関へ相談するなどの対応を行っている。			
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりに合わせた声掛けを行い、楽しんで入浴が出来るよう支援している。声掛けを行っても入浴を希望しない利用者に対しては無理強いをせず、時間帯をずらすなど、可能な限り利用者の希望を尊重している。歩行困難な利用者にはシャワーキャリーを使用し、ゆっくりと安全・安心に入浴できるよう支援している。また、体調に合わせてシャワー浴や足浴、清拭など、本人の負担にならないような方法を選択し、清潔を保てるよう努めている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの生活習慣や体調、状況に応じて休息できるよう支援している。日中も希望に応じて休息してもらっている。リビングのソファーや和室でも休むことが出来るように環境整備を行っている。入眠できない利用者には温かい飲み物を提供したり、安心出来る声掛けを行っている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者全員の服薬情報を確認し、用法、用量、作用、副作用について職員一人ひとりが理解している。また、各利用者に合わせた服薬支援を行い、状態に変化がみられた場合は医師に相談し、処方の調整を行ってもらったり、薬局の薬剤師にも助言をいただいたりしている。薬の変更があった時は、口頭での申し送りと申し送りノートに記載することで、職員全員に周知している。また、誤薬・飲み忘れが起きないように、服薬マニュア		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

				ルを定期的に周知している。			
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの生活歴を把握し、家事仕事や畑仕事など個々の力を活かした役割を持ち、張り合いのある日々を過ごせるよう支援している。また、本人の希望に沿って食べたい物を食べたり、リビングで趣味活動を行ったり、キッチンやテーブルで食事準備などができるよう支援している。天気の良い日には、近くの公園を散歩して外の景色を見るなど、気分転換ができるよう努めている。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている (B.)ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	天気の良い日はグループホーム周辺の散歩や近くの畑で野菜作りができるよう、また、外食やドライブに出掛け、外の景色にふれあえるよう支援を行っている。 その日の希望に必ずしも対応できない場合もあるが、可能な範囲で利用者の意向を確認し、職員体制や安全面を考慮しながら外出の機会を調整している。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望する必要な物や食べたい物などを聞き取って一緒に買いに行ったり、職員が購入を行ったりしながら支援している。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人宛の荷物や手紙が届いた際は、本人から電話で直接お礼を伝えたり、手紙の返信を書いたりできるよう支援している。本人より電話がしたいと希望があった時や家族から電話があった時は取り次ぎをして、話ができるよう支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快	(A.)充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共用の空間は、利用者にとって不快がないよう清潔、清掃、整理、整頓に努めている。二重カーテンを利用し色彩や光に配慮している。また、室		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている		温や湿度を把握し、エアコンや加湿器、除湿器、空気清浄機を有効利用して快適に過ごせるよう努めている。庭や畑に咲いている花をリビングに飾り、季節感のある空間づくりを工夫している。			
Ⅳ．本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりの思いや願いを日々の会話の中からくみ取り、本人の暮らし方の意向に沿った生活が出来るよう努めている。意思表示が困難な利用者については、日頃の様子や行動から思いや願いに気付くように心掛けるとともに、、ご家族来訪時に、生活歴を伺い、より本人に寄り添った支援ができるよう努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人ひとりの生活歴、家族関係、友人関係、これまでの暮らしの習慣、趣味・嗜好などの情報を、センター方式アセスメントを通して担当職員全員で共有している。これらの情報は支援計画の作成だけでなく、日々の関わりの中でも積極的に活用しており、会話の中に家族や友人の名前、好きな話題、過去の経験を取り入れることで、利用者が安心して過ごせる関係づくりにつなげている。 また、生活歴に基づいた声かけや活動の提案を行うことで、本人がこれまで大切にしてきた暮らし方を継続できるよう支援している。職員間での情報共有は定期的に行われており、誰が関わっても一貫した支援を提供できる体制が整っている。 これらの取り組みにより、本人が自分らしさを保ちながら安心して生活できる環境が実現している。			

42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康を維持できるよう利用者の状態を細やかに観察して体調の変化をみている。医療が必要になった場合は、かかりつけ医と連携を図り、安全な環境の下で、適切な医療を受けられるよう支援している。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人ひとりのペースを大切にし、生活歴を把握したうえで、これまでの暮らしが継続できるよう支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自室になじみのある使い慣れた家具や食器、こだわりのあるもの、家族や友人との写真を配置したり、お気に入りの洋服などを持つことで、居心地のいい部屋作りを心掛けている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族会事業である花植えやダリヤ園散策、成島園主催の夏祭りに参加するなど、戸外に出掛ける機会を設けている。また、本人の希望があればグループホーム周辺への散歩なども行っている。さらに、地域の文化祭にフラワーアレンジメントや書道、利用者が作成した作品を出品することで、地域行事にも参加する機会が持てている。自ら希望を伝えることが難しい利用者についても、本人の様子を見ながら声掛けを行い、外出の機会を設けるよう努めている。			
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者のできること、できないことを把握し、家事仕事や体操、裁縫やパズル、ぬり絵などの楽しみごとができるように支援している。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	(A.) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の話を傾聴しながら共感し、持てる力を発揮できるよう、声掛けや支援を行い、利用者が生き生きと暮らせるように努めている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の町おこしでもある「桔梗の里作り」や、地域の文化祭への作品出展等、地区運動会に参加するなど、地域との交流を続けることができている。			
49	総合	本人は、このGHにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている (B.) ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所の行事や地域の季節ごとの行事に参加し、地域の人々や職員と交流する機会を設けることができている。また、日々の生活の中で、馴染みのある他の利用者や職員と談笑しながらお茶を飲んだり、自分にできることを継続しながらグループホームで生活することで、安心した自分らしい生活を送ることができている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	